

地 球 温 暖 化 対 策 計 画 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	医療法人純正会
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市中川区荒子二丁目40番地
工場等の名称	名古屋市立緑市民病院
工場等の所在地	名古屋市緑区潮見が丘1丁目77番地
業種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	医療
計画期間	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	令和3年7月15日 ～ 令和6年3月31日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所） 名古屋市立緑市民病院 南館1階エレベーター前
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-892-1331		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

「本来の病院の機能を損なうことなく、業務の見直しをしながら、地域と連携しつつCo2排出量の削減に取り組む」

- 1) 節電、その意識の徹底
- 2) 業務の簡素化、ムダを減らす取り組み
- 3) 地域との連携、体制の強化（医療資源の有効活用）

(2) 地球温暖化対策の推進体制

【運営会議】

委員長：山本院長

副委員長：徳田副院長

委員：各所属長

↓

全従業員

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 2 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,729	t-CO ₂
①を （温室効果ガス 換算） 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,729	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度 令和 2 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 5 年度	
			目標排出量		目標削減率	
温室効果ガス 総排出量	1,729	t-CO ₂	1,677	t-CO ₂	3.0	%

項 目	基準年度 令和 2 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 5 年度	
			目標排出量		目標削減率	
原単位あたりの 排出量		CO ₂		CO ₂		%

（2）目標設定の考え方

温室効果ガスを 1 年間に 1 %ずつ、3 年間で 3 %削減する

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー・省資源の推進／空調	空調の使用時間について管理を行う。	基本空調について、中央管理によるスケジュール設定を見直し、時間外や使用箇所の利用状況を考慮して再設定する。 個別空調についても帰宅時や使用しない部屋の電源オフを徹底する。
省エネルギー・省資源の推進／照明	蛍光灯をLEDに適時変更を行う。	外来・病棟・通路の一部に導入済みのLEDについて、今後も導入箇所を増やしていく。 照明全般について、帰宅時や使用しない部屋の消灯を徹底する。
省エネルギー・省資源の行動の実践／OA機器	操作しない時や退社時の電源オフを徹底する。	パソコンの未使用時、スリープ状態になるよう設定する。OA機器全般について、帰宅時や長時間使用しない機器の電源オフを徹底する。
省エネルギー・省資源の推進／労務	残業時間削減に向けた業務改善を行う。	会議において時間外勤務について協議を継続し、各部門の所属長が業務改善に取り組む。残業による各機器の使用時間を削減する。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

・一部職員へのクールビズ推奨 ・両面コピー及び裏紙の再利用による紙使用量削減、電子フォルダの利用によるペーパーレス化 ・ゴミの分別、委託業者による生ごみの堆肥化
--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

--